## 動物実験計画書

北海道教育大学長 殿

北海道教育大学動物実験取扱規則第7条第1項の規定に基づき、下記の計画による動物実験の承認を申請します。

1. 研究課題名												
2. 動物実験責任	氏 名					所属部局・専門分野			:名等	教育訓練受講の有無 動物実験等の経験年数		
者名	ふりがな 氏 名									□有 □無		
	E-mail	mail					連絡先 TEL・					
3. 動物実験実施	<ul><li>ふりがな</li><li>氏 名</li></ul>						連絡先 TEL・			□有 年		
	<ul><li>ふりがな</li><li>氏 名</li></ul>						連絡先 TEL・				□有 □無 年	
	<ul><li>ふりがな</li><li>氏 名</li></ul>					連絡先 TEL・						
4. 実験実施予定期間	令和	年	月	日 ~	~ 令和	年	月日	1				
5. 飼養保管施設 及び実験室	飼養保管	施設	(承認番号			)	実り	倹 室	(	(承認番号 )		
6. 使用動物	動物	種	系統	性別	匹数	齢	微生物学 的保証	遺伝学的 保証	(칙	入手先 尊入機関名)	備考	
							□有 □無	□有 □無	Ħ.			
							□有 □無	□有□無	#			
							□有 □無	□有 □無	#		-	
							□有 □無	□有□無	#		-	
7. 動物実験の目 的			- 予想され	る成果は	こつい	て各項目	目ごとに記載	する。				
	(意義)											
	(予想な	される	成果)									

8. 実験方法	実験の内容を具体的に記載する。			
	遺伝子組換え動物使用実験の場合(承認番号: )			
9. 動物実験を必	□ 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。			
要とする理由	□ 検討した代替手段の精度が不十分だった。			
	□ その他 ( )			
10 +9 +5 12 7 +5	□ 脊椎動物を用い、動物に対してほとんど あるいはまったく不快感を与えないと思われる実			
10. 想定される苦   痛のカテゴリー	験。 □ 脊椎動物を用い,動物に対して軽度のストレス または痛み (短時間持続するもの) を伴う			
1用のカナコリー 	日 有性動物を用い、動物に対して軽度のヘドレヘ または媚み (塩時間行就するもの) を行う と思われる実験。			
	□ 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレス または痛み (長時間持続するもの) を伴う			
	と思われる実験。			
	□ 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる			
	実験。			
  11. 動物の苦痛軽	□ 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はな			
減排除の方法	い。 □ 長時間の保定・拘束が避けられない。			
(該当項目をす	(その理由を記入: )			
べて、複数の薬	□ 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず,処置できない。			
剤を使用する場	(その理由を記入: )			
合はそれぞれに	□ 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。			
ついて記入)	(薬剤名・投与量・経路: )			
	(薬剤名・投与量・経路: ) □ 動物が耐えがたい痛みを伴う場合,適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポ			
	□ 動物が耐えかたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人追的エンドホイントを考慮する。			
	(人道的エンドポイントの具体的内容: )			
	□ その他 (具体的に記入: )			
12. 安楽死の方法	□ 麻酔薬等の使用			
(該当項目をす	(薬剤名・投与量・経路:			
べて、複数の薬	(薬剤名・投与量・経路: )			
剤を使用する場	□ 炭酸ガス吸入			
合はそれぞれに ついて記入)	□ 中枢破壊(具体的に記入: ) □ 安楽死させない(その理由を記入: )			
13. 動物死体の処	□ 外部業者に依託			
理方法	□ その他 (具体的に記入: )			
	,			
14. 備考				

	審査終了:令和 年 月 日
15. 委員会記入欄	修正意見等
	審査結果 □ 本実験計画は、北海道教育大学動物実験取扱規則等に適合する。
	□ 本実験計画は,北海道教育大学動物実験取扱規則等に適合しない。
	承認:令和 年 月 日
16. 学長承認欄	本実験計画を承認する。
	承認番号: 第 号
	承認期限: 令和 年 月 日
	北海道教育大学長

## 備考

該当する項目の□にチェックを付す。